

## 申込方法

別添の参加申込書に必要事項を記入の上、郵送又はFAXで申し込んでください。  
(部分的な参加も可能です。)

## 申込先

奈良県立教育研究所  
“教育セミナー2016”係

郵送：〒636-0343  
奈良県磯城郡田原本町  
薬庄22-1

FAX：0744-33-8909

## 会場への案内



## 参加の申込みについて

- ・日程、内容等に変更があった場合は、奈良県立教育研究所のWebページにてお知らせします。
- ・当日、気象警報が発令された際は、中止とさせていただく場合がありますので、参加の前には御確認ください。

奈良県立教育研究所のWebページ  
<http://www.nps.ed.jp/nara-c/>

## 申込み締切

平成28年5月20日(金)

## 問合せ先



奈良県立教育研究所 教科教育係  
TEL：0744-33-8903

平成28年度 奈良県立教育研究所

# 教育セミナー2016

(御学内)

## ともに学ぶ!

～「自ら学び、ともに学ぶ」  
アクティブ・ラーニング～



日時 平成28年5月31日(火)

13:00～16:00(受付12:30～)

場所 奈良県立教育研究所

対象 教育関係者及び教育に関心のある方

## 日程

12:30	13:00	13:10	14:20	14:30	15:10	15:20	16:00	16:45
受付	開会式	全体会	移動・休憩	研究発表1	移動・休憩	研究発表2	館内開放	
パネル展示・教材展示(研究成果及び各種紹介パネル、ICT機器、実験器具、新教材等)								



受付 12:30~ 開会式・全体会 13:00~14:20

**教材体験**  
新しい教材やICT機器、デジタル教材など、実際に触れながら体感できます。  
16時45分頃まで

**全体会**

① 基調講演

**アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善**  
国立教育政策研究所 後藤 顕一 氏



**教育セミナー 2016**  
「自ら学び、ともに学ぶ」  
アクティブ・ラーニング  
**発表内容一覧**

研究発表1 (14:30~15:10)	
②	<b>教育相談</b> 小学生の未熟な対人関係から生じる問題を予防するためのプログラムの研究 —良好な人間関係の形成を目指して—
③	<b>教科教育</b> 英文の大意を把握することを目指したリーディング指導の一考察 —トップダウン処理を促すワークシートの開発—
④	<b>学校事務</b> 財務事務を通して行う組織マネジメントモデルの提案 —エコを視野に入れた教育環境整備の実践から—
⑤	<b>教科教育</b> キャリア教育の視点を取り入れた教科指導 [社会、地理歴史、公民] 歴史の教科指導において、生徒の主體的な考察を促す手立てを工夫することで、歴史を学ぶ意欲が向上し、ひいては基礎的・汎用的能力の涵養につながるということを検証しました。
⑥	<b>道徳教育</b> 豊かな人間性を培い たくましく生きる力を育てる道徳教育 平成27年度に奈良県道徳教育研究協議会の小学校低学年部会と高学年部会で、研究テーマに基づいて取り組んだ実践について報告します。

研究発表2 (15:20~16:00)	
⑮	<b>教科教育</b> 高等学校理科(化学基礎・化学)におけるアクティブ・ラーニングの充実 —主体的・協働的に学ぶ生徒を育てるための授業の提案—
⑯	<b>教科教育</b> 企業体験研修を生かしたNC工作機械の実習テキストの作成 切削加工を行う製造現場では、NC工作機械を使いこなせる人材を必要としています。そこで、企業研修を生かして、製造現場における実用的な技術を身につけるために作成した、実習テキストについて報告します。
⑰	<b>校内研修</b> 若手教員の成長支援に向けた取組 —採用2年目及び担任2年目教員を対象としたOJT— 高等学校において、若手教員の資質能力向上を図るためにOJTを実践し、効果の検証を行いました。そのOJTの進め方・取組を、一つのモデルとして報告します。
⑱	<b>大学との連携</b> 奈良教育大学との連携による 小学校若手教員育成研修システム開発 小学校若手教員の授業力を高めることをねらいとし、奈良教育大学、県内小学校及び教育研究所の3機関が連携して主体的・協働的な研修システムを開発しましたので報告します。
⑲	<b>NIE</b> 教育に新聞を NIE (Newspaper In Education) は学校教育で新聞を教材として活用する活動です。NIEの活動や、NIEを活用した県内の学校などの実際の取組を紹介しながら、皆さんと一緒にNIEについて考えます。

**発表主題** / **内容紹介**

⑦ ※基本的に前半後半通しての参加をお願いします。  
**アクティブ・ラーニングの実際**  
求められる資質・能力とアクティブ・ラーニング  
国立教育政策研究所 後藤 顕一 氏  
アクティブ・ラーニングの視点に立った深い学び、対話的な学び、主体的な学びを実現する授業について、活動、体験を通して学んでみませんか。児童、生徒に求められる資質・能力を育てるために、どのような授業づくりが大切か、ともに学びましょう。

前半	後半
⑧	⑩
プロジェクト1 <b>幼児教育</b> 小学校への接続を意識した幼児期における学びの基盤の育成 —幼児期で育成したい「学びに向かう力」—	プロジェクト2 <b>言語活動の充実Ⅱ</b> 主体的な学びを高める外国語活動の授業づくり —自己評価の工夫—
⑨	⑪
プロジェクト2 <b>言語活動の充実Ⅰ</b> 学びを楽しみ学びをつなぐ国語の授業づくり	プロジェクト3 <b>理数教育</b> 実感を伴った理解を深める観察・実験の教材・教具づくり
⑩	⑫
プロジェクト2 <b>言語活動の充実Ⅱ</b> 主体的な学びを高める外国語活動の授業づくり —自己評価の工夫—	プロジェクト4 <b>ICT活用</b> へき地教育におけるICTの活用の在り方
⑪	⑬
プロジェクト3 <b>理数教育</b> 実感を伴った理解を深める観察・実験の教材・教具づくり	プロジェクト5 <b>教育相談</b> 小学校における教育相談体制づくり —セカンドステージ/モデル開発—
⑫	⑭
プロジェクト4 <b>ICT活用</b> へき地教育におけるICTの活用の在り方	プロジェクト6 <b>特別支援教育</b> ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり —継続的・発展的な普及を目指して—
⑬	⑮
プロジェクト5 <b>教育相談</b> 小学校における教育相談体制づくり —セカンドステージ/モデル開発—	⑮
⑭	⑯
プロジェクト6 <b>特別支援教育</b> ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり —継続的・発展的な普及を目指して—	⑯
⑮	⑰
⑮	⑱
⑰	⑲
⑱	⑲

**館内開放**  
~16:45頃まで

“未来の先生”のコーナー

教員になることを志望する学生が、アクティブ・ラーニングの充実を目指した授業づくりについて提案します。



パネル等の展示

教育研究所の研究成果や奈良県教育委員会各課・室の取組をまとめたパネル等を展示しています。

参加申込みの際には、①~⑲のうち希望される番号を、別添の参加申込書に御記入ください。  
※全体会・前半・後半のみの参加も可能です。